

小倉薬剤師会 7月学術研修会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう
お願い申し上げます。

謹白

■事前申し込みの方のみご参加可能ですので、参加ご希望の際は、以下URLより7月5日(火)厳守にてお申込みください。(お申込みは会員に限ります)

■視聴用URLの発行について

開催日前に、以下申込みURLよりご登録いただいたメールアドレスへ、視聴用URLをお知らせします。

※開催日前に視聴用URLが届かない場合は事務局まで(093-941-3518)お問い合わせください。

■単位申請について(PECSに変更)

①ご参加いただいた会員様の単位取得は、以下の申込みURLよりご入力いただいた「薬剤師番号」にて申請いたしますのでご入力の際は誤りのないようにご注意ください。※申請後の修正はできかねますのでご了承ください。

②単位取得については入退室が記録されたZoomからの「受講ログ」を研修センターに提出となっております。講演開始時19時前にご入室されたログ記録、および20:30までご聴講いただいたログ記録にて認められます。※ログ記録が1.5時間に満たない場合はいかなる理由でも単位取得の対象となりません。

記

【日時】 2022年 7月 12日(火) 18:45~20:30

【開催方法】 WEB配信(WEB会議ツールを用いたオンライン研修) 研修会

【情報提供】 18:45~19:00

『内服抗がん剤関連製品紹介』 株式会社ヤクルト本社

【PS】 1. ヒューマニズム(倫理): ①-1・2
2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性): ①-11・13、②-104-106、③-17

座長 学術委員 石井 隆義

【基調講演】 19:00 ~ 19:30

『 irAE (免疫関連有害事象) と薬剤師の関わり 』

演者 久留米大学病院 薬剤部 菊池 武友 先生

【特別講演】 19:30 ~ 20:30

『 胃癌治療の現在地 』

演者 聖マリア病院 外科 廣方 玄太郎 先生

<特別講演要旨>

本邦の胃癌の罹患率は全癌種の中で2位であり、死亡数も3位と予後不良の疾患です。近年、消化器癌治療の進歩、すなわちEvidenceに基づいた化学療法(標準化と腹腔鏡手術、ロボット手術など)による低侵襲治療の発達により、それまで全癌死のうち約20%を占めていた胃癌による死亡率は現在7%まで減少しております。再発切除不能胃癌に対する化学療法は、この20年の間に様々な臨床試験により標準治療が確立されてきました。それに加え、近年さらに様々な薬が開発され、それらのEvidenceが蓄積されることにより、更なる予後の向上が得られてきました。また様々な遺伝子に基づいた個別医療も導入され、急速に進歩しております。そこで、これまでの化学療法の歴史を振り返りつつ、現在の標準治療がどのような理由により選択され、使われているかを解説致します。また、外科領域においては腹腔鏡手術の発達により、患者さんへの負担を大幅に軽減した低侵襲手術が標準術式となってきています。さらに、近年、ロボット手術が導入されより低侵襲な手術として注目されておりますので、実際の手術画像などを供覧しながらそれらの説明をしたいと考えております。

共催: 小倉薬剤師会
株式会社ヤクルト本社

7月12日（火）学術研修会申込書 ※申込み方法が変わりました

↓以下の研修会申込みURLよりお申込みください↓

申込み締切：7月5日（火）迄

<https://forms.gle/6g2aP3ES3MrsAZJp7>

■PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録はお済みですか？■

PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録が必須となりますので、単位付与を希望される場合は、必ずPECSへの登録完了後に、参加申し込みしてください。

日本薬剤師研修センターHP <https://bitly/3vb8RU9>（薬剤師用入口より）

登録完了していない場合や登録内容に誤りがあった場合は、単位が正しく発行されません。免許番号に「中」や「外」が含まれている場合は、その文字も含めてご入力ください。登録内容に誤りがあった場合の単位付与に関しては本会 は責任を負いかねますのでご了承ください。

※当講演会で取得したご施設名・ご芳名は、共催製薬会社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供、ならびに参加者に関するご確認のために利用させていただくことがございます。また、当該情報は、共催製薬会社から小倉薬剤師会に開示させていただきます。